

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人ジムナスティック・ネットワーク

1 事業の成果

活動拠点であるジム・ネット体操場の増築後3年間の活動を通して、施設の有効活用と運営資金の安定した調達を模索してきた。指導者の確保等課題は残るものの、継続可能な経営の見通しを持つことができるようになった。

選手育成においては、國府方杏月が日本体操協会ジュニアナショナル選手指定を受けた。今年度はFIG種目別ワールドカップやカナダ国際など海外の大会に日本代表として参加する選手を2名輩出することができた。カナダ国際においては國府方杏月がゆかで優勝した。それ以外にも北信越はもとより全国大会で多数の好成績を収め、全日本種目別選手権では跳馬で坂口彩夏が優勝、段違い平行棒で松村朱里が2位、ゆかで國府方杏月が5位入賞を果たした。全日本団体選手権に初出場し4位となった。全国高校総体では松村朱里が個人総合優勝2位、全国中学大会では國府方杏月が個人総合2位となった。

ジム・ネット体操場では未就園児から高齢者までそれぞれのライフステージに適した運動プログラムを提供することができた。市内のNPO法人キッズウィルと協力して、発達障害を持つ幼児・児童に対する療育プログラム実践の場所としてジム・ネット体操場を有効活用できている。

ビギナーズ体操大会の開催は、長野県内の体操競技の普及と競技人口の維持に大きく貢献している。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 (定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | (A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数 | (D)受益対象者の範囲 (E)人数 | 事業費の金額(単位:千円) |
|--------------------|--|--|---------------------------------|---------------|
| 体操教室の運営事業 | 大町市を拠点に通年の体操教室を開催した。特に幼児期からの体力・運動能力向上に対する取り組みの重要性を念頭に置き、プログラムを検討、実践した。選手育成においては、県外の大会や強化練習にも積極的に参加し競技力の向上を図った。介護予防体操教室事業は包括支援センターと連携し地域の公民館等に出向いて実施した。 児童センターからの要請を受け、2歳児親子の体操教室の指導に当たった。 | (A) 通年 (B) ジム・ネット体操場、あづみ野ランド体育館、公民館等 (C) 10人 | (D) 体操教室会員、地域の一般住民 (E) 約500人 | 253,113 |
| 体操競技大会の開催事業 | 体操競技の基本となる「マット、跳び箱、鉄棒」の3種目を用意し、「ビギナーズ大会」として開催した。大会には長野県下12団体から206人の幼児、小中学生が参加している。 | (A) 12月9日 (B) 信州スカイパーク体育館 (C) 60人 | (D) 一般地域幼児・小中学生 (E) 209人 | 554 |
| 指導者の研修・交流会開催事業 | 日程調整がつかず未実施 | | | 0 |